

平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月5日

上場取引所 東

上場会社名 東鉄工業株式会社

コード番号 1835 URL <http://www.totetsu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小倉 雅彦

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画本部経理部長 (氏名) 片岡 紀雄

TEL 03-5369-7687

四半期報告書提出予定日 平成28年2月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	77,390	17.9	8,153	82.4	8,424	77.1	5,466	65.1
27年3月期第3四半期	65,668	7.8	4,469	21.5	4,755	20.6	3,311	39.2

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 6,837百万円 (48.0%) 27年3月期第3四半期 4,620百万円 (35.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	154.57	—
27年3月期第3四半期	93.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	104,293	61,793	58.3
27年3月期	101,961	57,137	55.1

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 60,806百万円 27年3月期 56,211百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	30.00	30.00
28年3月期	—	16.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	122,300	5.3	10,100	9.7	10,300	7.5	6,700	2.5	188.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	36,100,000 株	27年3月期	36,100,000 株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	771,402 株	27年3月期	571,498 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	35,368,432 株	27年3月期3Q	35,547,542 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 補足情報	9
受注高・売上高・繰越高の状況	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、前年度に首都直下地震対策関連工事などの民間鉄道工事の受注が集中したことから、受注高は79,466百万円（前年同期比3,598百万円減少）となりましたが、公共工事や民間一般工事などの受注は順調に推移しました。また、売上高は、進行基準対象工事の増加に加え、各種繰越工事が順調に進捗したことにより、77,390百万円（前年同期比11,722百万円増加）となりました。

利益につきましては、上記売上高の増加に加え、全社をあげて継続的に取り組んでいる不採算工事の徹底排除、原価管理の強化、種々のコストダウン努力、一部特殊要因などもあり、売上総利益は12,633百万円（前年同期比3,672百万円増加）、営業利益は8,153百万円（前年同期比3,683百万円増加）、経常利益は8,424百万円（前年同期比3,668百万円増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5,466百万円（前年同期比2,155百万円増加）といずれも大幅な増加となりました。

なお、平成27年4月からスタートした新しい3ヵ年中期経営計画の詳細につきましては、平成27年5月28日発表の「中期経営計画（2015～2018）『東鉄 3D Step2018』〔詳細版〕」をご参照ください。次のURLからご覧いただくことができます。

(当社ホームページ)

<http://www.totetsu.co.jp>

セグメントの業績は、次のとおりです。なお、セグメントの売上高につきましては、外部顧客への売上高を記載しております。

## (土木事業)

受注高は54,799百万円（前年同期比10.3%減）、売上高は51,564百万円（前年同期比20.8%増）となりました。

売上高のうち工事進行基準による計上額は33,048百万円であり、次期繰越高は57,110百万円となりました。

セグメント利益は5,929百万円となりました。

## (建築事業)

受注高は24,667百万円（前年同期比12.4%増）、売上高は21,752百万円（前年同期比22.0%増）となりました。

売上高のうち工事進行基準による計上額は17,067百万円であり、次期繰越高は24,360百万円となりました。

セグメント利益は1,755百万円となりました。

## (その他)

売上高は4,073百万円で、その主なものは鉄道関連製品の製造及び販売収入であります。

セグメント利益は456百万円となりました。

なお、各事業の詳細につきましては、補足情報をご参照ください。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は前年度末比2,332百万円増加し、104,293百万円となりました。

主な要因は、未成工事支出金等の増加であります。

負債合計は、前年度末比2,323百万円減少し、42,500百万円となりました。主な要因は、支払手形・工事未払金等の減少であります。

純資産合計は、前年度末比4,655百万円増加し、61,793百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成27年5月11日に公表しました業績予想から変更はございません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。

当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

### (4) 追加情報

(表示方法の変更)

(四半期連結損益計算書)

従来、「営業外収益」に計上しておりました「社宅料」につきましては、借上社宅制度の利用者増加等に伴い、金額的な重要性が増加傾向にあり、当該制度の費用負担の実態を明確かつ損益区分をより適切に表示するため、第1四半期連結会計期間より、「売上原価」、「販売費及び一般管理費」から控除する方法に変更しております。

この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っております。この結果、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、売上総利益が62,511千円、営業利益が88,598千円それぞれ増加しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	18,706,564	10,324,504
受取手形・完成工事未収入金等	56,427,213	56,285,845
未成工事支出金等	2,256,601	10,192,344
繰延税金資産	914,602	501,299
その他	3,040,979	4,389,194
貸倒引当金	△16,405	△4,560
流動資産合計	81,329,554	81,688,627
固定資産		
有形固定資産	6,518,388	6,370,009
無形固定資産	221,338	194,788
投資その他の資産		
投資有価証券	13,482,103	15,413,789
退職給付に係る資産	—	211,554
その他	2,382,990	2,381,444
貸倒引当金	△1,972,745	△1,966,295
投資その他の資産合計	13,892,347	16,040,491
固定資産合計	20,632,074	22,605,290
資産合計	101,961,629	104,293,917

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	30,871,626	25,507,040
未払法人税等	1,655,788	873,865
未成工事受入金	503,677	1,768,864
完成工事補償引当金	95,100	75,025
賞与引当金	1,644,737	761,263
工事損失引当金	101,719	44,486
その他	6,189,745	9,109,446
流動負債合計	41,062,395	38,139,992
固定負債		
繰延税金負債	2,089,310	2,779,222
債務保証損失引当金	327,315	325,015
退職給付に係る負債	601,256	568,312
その他	743,746	688,320
固定負債合計	3,761,629	4,360,870
負債合計	44,824,025	42,500,862
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,810,000	2,810,000
資本剰余金	2,350,634	2,351,082
利益剰余金	46,827,222	50,663,054
自己株式	△353,538	△902,997
株主資本合計	51,634,318	54,921,139
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,574,333	5,838,189
退職給付に係る調整累計額	2,375	46,901
その他の包括利益累計額合計	4,576,709	5,885,090
非支配株主持分	926,577	986,825
純資産合計	57,137,604	61,793,055
負債純資産合計	101,961,629	104,293,917

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高		
完成工事高	60,517,090	73,316,781
付帯事業売上高	5,151,261	4,073,943
売上高合計	65,668,352	77,390,724
売上原価		
完成工事原価	52,692,715	61,717,094
付帯事業売上原価	4,014,548	3,040,490
売上原価合計	56,707,263	64,757,584
売上総利益		
完成工事総利益	7,824,374	11,599,686
付帯事業総利益	1,136,713	1,033,453
売上総利益合計	8,961,088	12,633,140
販売費及び一般管理費	4,491,304	4,479,426
営業利益	4,469,783	8,153,714
営業外収益		
受取利息	2,320	2,912
受取配当金	183,939	199,674
持分法による投資利益	92,009	56,110
その他	17,747	19,215
営業外収益合計	296,017	277,912
営業外費用		
支払手数料	1,695	2,239
その他	8,435	4,840
営業外費用合計	10,131	7,079
経常利益	4,755,669	8,424,547
特別利益		
固定資産売却益	474,435	345
債務保証損失引当金戻入額	3,500	2,300
特別利益合計	477,935	2,645
特別損失		
固定資産売却損	—	1,876
固定資産除却損	54,916	84,660
特別損失合計	54,916	86,536
税金等調整前四半期純利益	5,178,689	8,340,656
法人税、住民税及び事業税	1,226,345	2,344,538
法人税等調整額	558,382	488,707
法人税等合計	1,784,727	2,833,246
四半期純利益	3,393,962	5,507,409
非支配株主に帰属する四半期純利益	82,012	40,455
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,311,949	5,466,954

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	3,393,962	5,507,409
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,152,493	1,279,117
退職給付に係る調整額	59,416	44,525
持分法適用会社に対する持分相当額	15,020	6,286
その他の包括利益合計	1,226,931	1,329,929
四半期包括利益	4,620,893	6,837,339
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,501,642	6,775,335
非支配株主に係る四半期包括利益	119,250	62,004

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	土木事業	建築事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	42,680,292	17,836,797	60,517,090	5,151,261	65,668,352	—	65,668,352
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	383,636	383,636	1,154,703	1,538,340	△1,538,340	—
計	42,680,292	18,220,434	60,900,727	6,305,965	67,206,692	△1,538,340	65,668,352
セグメント利益	2,753,081	1,082,782	3,835,864	615,708	4,451,573	18,210	4,469,783

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、鉄道関連製品の製造及び販売、不動産賃貸事業並びに環境事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額18,210千円は、セグメント間取引消去11,435千円及び固定資産の未実現損益の調整額6,774千円であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	土木事業	建築事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	51,564,648	21,752,132	73,316,781	4,073,943	77,390,724	—	77,390,724
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	387,177	387,177	1,197,300	1,584,477	△1,584,477	—
計	51,564,648	22,139,309	73,703,958	5,271,244	78,975,202	△1,584,477	77,390,724
セグメント利益	5,929,393	1,755,984	7,685,377	456,982	8,142,360	11,354	8,153,714

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、鉄道関連製品の製造及び販売、不動産賃貸事業並びに環境事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額11,354千円は、セグメント間取引消去4,995千円及び固定資産の未実現損益の調整額6,359千円であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 4. 補足情報

受注高・売上高・繰越高の状況

連結部門別受注高比較表

(百万円未満切捨て)

区分	前四半期連結累計期間	構成比	当四半期連結累計期間	構成比	
《建設事業》	百万円		百万円		
土 木	61,120	73.6%	54,799	69.0%	
建 築	21,944	26.4%	24,667	31.0%	
計	83,065	100.0%	79,466	100.0%	
官 公 庁	4,518	5.4%	5,535	7.0%	
	鉄 道	285	0.3%	鉄 道	1,044
	一 般	4,233	5.1%	一 般	4,491
民 間	78,546	94.6%	73,930	93.0%	
	鉄 道	71,563	86.2%	鉄 道	63,394
	一 般	6,983	8.4%	一 般	10,536
合 計	83,065	100.0%	79,466	100.0%	
	鉄 道	71,848	86.5%	鉄 道	64,439
	一 般	11,217	13.5%	一 般	15,027

連結部門別売上高比較表

(百万円未満切捨て)

区分	前四半期連結累計期間	構成比	当四半期連結累計期間	構成比	
《建設事業》	百万円		百万円		
完成工事高					
土 木	42,680	70.5%	51,564	70.3%	
建 築	17,836	29.5%	21,752	29.7%	
計	60,517	100.0%	73,316	100.0%	
官 公 庁	3,920	6.5%	4,012	5.5%	
	鉄 道	605	1.0%	鉄 道	816
	一 般	3,315	5.5%	一 般	3,196
民 間	56,596	93.5%	69,303	94.5%	
	鉄 道	50,104	82.8%	鉄 道	60,356
	一 般	6,491	10.7%	一 般	8,947
合 計	60,517	100.0%	73,316	100.0%	
	鉄 道	50,710	83.8%	鉄 道	61,173
	一 般	9,806	16.2%	一 般	12,143
《付帯事業》売上高	5,151	—	4,073	—	
売上高 合計	65,668	—	77,390	—	

連結部門別繰越高比較表

(百万円未満切捨て)

区分	前四半期連結会計期間末	構成比	当四半期連結会計期間末	構成比	
《建設事業》	百万円		百万円		
土 木	61,006	75.0%	57,110	70.1%	
建 築	20,373	25.0%	24,360	29.9%	
計	81,380	100.0%	81,471	100.0%	
官 公 庁	6,196	7.6%	9,143	11.2%	
	鉄 道	1,935	2.4%	鉄 道	4,004
	一 般	4,260	5.2%	一 般	5,138
民 間	75,184	92.4%	72,327	88.8%	
	鉄 道	69,889	85.9%	鉄 道	60,815
	一 般	5,294	6.5%	一 般	11,512
合 計	81,380	100.0%	81,471	100.0%	
	鉄 道	71,825	88.3%	鉄 道	64,820
	一 般	9,554	11.7%	一 般	16,650